



公益社団法人 兵庫工業会

副会長 吉井 満隆
(バンドー化学株式会社)



兵庫工業会 NEWS

2022年11月号

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.306

「SDGs」はビジネス機会

■ 巻頭言 ■

今年度から兵庫工業会の理事ならびに副会長に選任いただきましたバンドー化学株式会社の吉井でございます。会員の皆様におかれましては、今後ともよろしくお願いいたします。

さて、私は、8月24日に開催されました「テクノフォーラム」に初めて参加させていただきました。フォーラムでは、神戸学院大学の中野先生の基調講演をはじめ、兵庫の各経済団体の皆様の活気あるディスカッションに接し、兵庫工業会の活動の一端を垣間見ることができました。

副会長として私に課せられましたテーマは、このテクノフォーラムのパネルディスカッションのテーマとなりました「SDGs」を兵庫工業会の会員の皆様にご理解いただき、普及する後押しをしていくというミッションであり、新たに設置された「SDGs普及検討会」の座長を仰せつかっております。

テクノフォーラムでの討議にもありましたように、SDGsは企業にとりまして今のところ最優先事項として捉えがたく、その内容は抽象的・観念的で範囲も広く、なかなか理解しづらいという一面もあります。しかしながら「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」であり、決して「誰かがやること」「我々のビジネスには関係ない」「まだまだ先のこと」というものではなく、事業を行う我々自身にとって「持続可能性」や「ビジネスモデルの再構築」など避けては通れない「身近な機会&リスク課題」であると思っております。兵庫県政も今年度からこの「SDGs視点」を一層取り入れ、全庁を挙げて総合的かつ効果的にSDGsに取り組んでいくことを発信しております。私自身もまだまだ勉強不足ではありますが、皆様とともに勉強し、時代の流れに乗り遅れないよう、普及に取り組んでまいりたいと思っております。

当社は、1906年に神戸で創業した伝動ベルトや搬送用ベルトなどを主な事業とする会社です。「調和と誠実」の経営理念の下、116年の長い歴史を有しますが、この間には、繊維産業や鉄鋼・炭鉱、自動車産業などその時代をリードする産業のお客様のニーズに誠実に応え、サプライヤーなどステークホルダーの皆様とともに各種の日本初の製品を開発し新しい付加価値を提供してきたことで、社会に存在価値が認められ、今日まで持続的に成長してきたのではないかと自負しております。今また、我々を取り巻く環境は、昨今の環境問題やDXなどを背景としたいろいろな産業の変革、特にCASEと称される「100年に一度」の自動車産業の大変革など大きく変化しつつあります。

当社におきましても、会社の遺伝子として蓄積されてきた「新しい付加価値を創造する精神」を発揮し、この大きな変化にどのようにして社会に存在価値を認めていただきながら持続的に成長していくか、という大命題に立ち向かっているところであります。

VUCAと称される先行き不透明な時代ではありますが、SDGsは明確な一つの目標であり、その中に我々企業が新たな付加価値を生み出し、ビジネスモデルを再構築して持続的に成長していくための機会があると信じております。兵庫工業会の皆様とともに、この大きなテーマと一緒に取り組み、自分事としてともに考え、模索していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

- ・ SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)
- ・ CASE : Connected Autonomous Shared & Service Electric
(変革の時代を迎えている自動車産業の動向を象徴するキーワードの頭文字をとった造語)
- ・ VUCA : Volatility Uncertainty Complexity Ambiguity
(社会やビジネスにとって、未来の予測が難しくなる状況)

第40回管理監督者研修 ご報告

9月9日(金)～10日(土)に24名の参加者を迎えて、「第40回管理監督者研修」を実施いたしました。今年では2年ぶりに加古川プラザホテルにおいて、例年通りの時期に実施することができました。

開会式後、リーダー・係長クラスと管理職クラスに分かれ、それぞれのカリキュラム・実習に取り組んでまいりました。

リーダー・係長クラスではリーダーの役割とリーダーシップに必要な力を理解することから始め、目標作成とその適切な運用について演習を通じて学びました。

管理職クラスでは「あるべき管理職像」の講義から管理職に求められる力と自己分析を通じ、今後の課題設定をしたうえで、各自来年2月のフォローアップ研修までの行動目標を立てていきました。

感染症対策を十分講じた中の講義・実習・発表でしたが、両クラスとも活発なディスカッションがなされており、非常に充実しておりました。

夕食時の交流も、各テーブルともアクリルパーテーションを使用して実施いたしました。参加者の皆さんは名刺交換を通じて、活発に情報交換されていたのが印象的でした。

数年前にリーダー・係長クラスを受講された方が管理職クラスを受講されるなど、階層別研修としての長期的な取り組みの成果が出てきたと感じられました。

一方、実習手法については、受講者によっては既知のものとなる可能性も出てまいりましたので、講師の方々とも相談のうえ、リニューアルしてまいります。

今後もより多くの方々にご受講いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



管理職クラス受講生による発表の様子



リーダー・係長クラスでのグループ実習



夕食交流会の様子

※来年度は、同会場にて2023年9月8日(金)～9日(土)開催予定です。

兵庫バイオインダストリー研究会 業界説明会

10月14日(金)に、神戸大学農学研究科との共催で就活関連イベントを開催致しました。会場の神戸大学農学部A棟の会議室に約50名の学生が集い、12時15分～16時過ぎまでの約4時間に亘り実施されました。今回のイベントでは、第一部で神戸大学と(株)マイナビ共催のエントリーシート対策講座を、第二部の業界説明会では、兵庫工業会会員の赤穂化成(株)と兵庫バイオインダストリー研究会会員でもある白鶴酒造(株)を含む9企業と自治体を併せて12社のご参加をいただくことができました。第二部の業界説明会では、学生が各企業から自治体に参加いただいた神戸大学の卒業生や若手担当者の皆様から直接職場の話聞くことができ、大変活発な質疑も交わされ、大盛況の中、無事に終わることが出来ました。



赤穂化成(株)業界説明会の様子



白鶴酒造(株)業界説明会の様子

「しんゆう会・女性会」合同見学会ご報告

しんゆう会・女性会合同で9月12日(月)に見学会を実施いたしました。

今回の見学会は参加者14名で宮脇会長も参加し、淡路市にあるプライミクス(株)を見学させていただきました。プライミクス(株)は高速攪拌機のパイオニアとして、独自の技術、製品を提供されています。また2015年に職住共存の次世代型ワークライフスタイルを実現するため、本社及び工場を大阪、埼玉から淡路島の夢舞台ニュータウンに移転。本社、工場に隣接した社員住宅は地域の環境や自然と調和できるサステナブルな建造物をコンセプトにデザイン・建設されたとても綺麗な会社でした。

和やかに昼食をいただいた後、蓮台山八淨寺を参拝いたしました。蓮台山八淨寺は淡路島七福神の二番霊場として本堂には高さ2mの大きな木彫りの大黒さんがお祀りしてあります。住職様からのお話を聞きその後、知る人ぞ知るパワースポットである「龍の伝説」の岩戸神社を参拝いたしました。

次世代型ワークライフスタイルにも触れ、パワースポットではパワーを感じ、とても有意義な一日になりました。



企業見学先 プライミクス(株)にて集合写真



蓮台山八淨寺 御本堂

2022年度会員交流見学会について

コロナ感染症の影響で3年ぶりに開催した会員交流見学会。今年は10月27日(木)～28日(金)の1泊2日で参加者12名は、愛媛県と香川県にある企業3社及びマイントピア別子 別子銅山記念館の見学と交流懇親会を開催いたしました。

☆(株)長曾鉄工所

ショベルカーなどの建設機械に使われる油圧バルブの精密部品等を製造。取引先は兵庫県にある企業様をメイン顧客とされています。最新鋭の自動加工機を多数備えられ、鉄工所の部品製造という油まみれのイメージを覆す非常にクリーンな工場でした。



(株)長曾鉄工所での見学風景



(株)大石工作所での見学風景

☆(株)大石工作所

創業から約80年に渡り化学プラントのメンテナンスに携わり、現在ではプラントを構成するパイプラインの製造、据え付け、部品加工まで一貫して手掛けられています。特に近年は、地域未来牽引企業や健康経営優良法人、SDGs推進企業に認定・登録されるなど積極的なCSR活動もされています。見学後には意見交換を実施し人材育成や採用、売上が倍増した秘訣などに御答えいただき参加者にとって大変有意義なものになりました。

☆マイントピア別子・別子銅山記念館

マイントピア別子と別子銅山記念館では、住友グループが283年にわたって経営してきた銅山の歴史と鉱山発掘を学んでいただきました。当初は東洋のマチュピチュと称される東平(とうなる)を見学する予定でしたが、落石の影響で通行止めのため、鉱山観光と砂金採りに変更し、見学を実施いたしました。



別子銅山での集合写真



川崎重工業(株)での集合写真

☆川崎重工業(株) 坂出工場

神戸と坂出の2つある造船所の一つで、大型の液化天然ガス運搬船や液化石油ガス運搬船を製造されています。見学時には迫力ある大型の製造物をはじめ、複数隻の船舶が停泊しており、参加者一同、久しぶりに夢のある製造現場を目の当たりにすることができました。

☆交流懇親会

会員交流見学会の目玉である「交流会」では、見学先や地元関係者にご参加いただいておりますが、今回は、コロナ禍で参加を見送られたため見学会参加者のみで実施致しました。参加された皆様全員、和気あいあいと交流されていました。

SDGs普及検討会の立ち上げと活動状況について(ご報告)

SDGsへの関心が高まる中、兵庫工業会では、2022年8月に開催したテクノフォーラム2022のパネルディスカッションにおいて、「今、SDGsにどう向き合うべきか」をテーマに共催4団体の代表の方々と共に、団体が取組むSDGs活動の紹介やSDGs取組みへの考えを紹介いたしました。これを皮切りに、会員の皆様にSDGsへの理解を深めていただき、SDGs普及を本格的に促進すべく、2022年9月には吉井副会長を座長とするSDGs普及検討会を立ち上げました。活動目的は、兵庫工業会の会員企業（経営者）がビジネスチャンスであるSDGsに取り組むに際して、背中を押す役目にあります。



テクノフォーラム 2022 における SDGs パネルディスカッション

9月22日に開催したキックオフ会合ではSDGsに関する意見出しをいたしました。主な意見としては、以下の通りです。

- ・ものづくり中小企業の経営者がSDGsの知識を得る機会として講演会は有益。若者にとってSDGsは当たり前であることを企業が知ることも重要。講演では取組事例の紹介は不可欠。
- ・皆さん、実はSDGsを意識せずにSDGsに取り組んでいる。これを表出しすることが重要。特に中小企業ではSDGsに対する経営課題意識がまだまだ低い。これからはSDGsが当たり前の社会を目指すことが求められている。
- ・SDGsにはペナルティーがない。あくまで評価は社会がするもの。企業としてはリスクと機会に対して行う活動と理解している。
- ・行政の方々からSDGs取組みの話が聞きたい。



行政の皆様との SDGs に関する意見交換

これらの意見を受け、10月21日に近畿経済産業局と兵庫県の方々よりSDGsの取組み事例等をご紹介いただき、活発な意見交換を行いました。

今後、検討を進め、“兵庫工業会におけるSDGs普及はいかにあるべきか”を提案いたします。具現化した際には、会員の皆様には是非ともご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

12月開講! 【DXリカレント研修】のご案内 ～兵庫県中小企業DX人材育成リカレント教育事業～

DX（デジタルトランスフォーメーション）の注目度が高まる中、そもそもDXとは何なのか？

本研修では、兵庫県立大学制作の『DX人材育成リカレント教育』プログラムを活用し、基礎知識を学び、活用方法などを事例紹介も交えて、初めてこの分野を学ぶ方にも基礎を体系的に学んでいただけるようになっています。Web（vimeo）形式で、いつでも・どこでも・何度でも学べます。

〈DX入門〉

1. 経営者向け入門1
2. 経営者向け入門2
3. 技術者向け入門1
4. 技術者向け入門2

〈DXにおけるAI活用〉

1. AIセミナー
2. ハンズオンセミナー
3. 課題演習



12月より開講いたします。皆様奮ってお申込ください。

変化に挑戦

高丸工業株式会社

所在地：〒662-0925 西宮市朝風町1-50 (JFE西宮工場内)
 TEL：0798-38-9200 FAX：0798-38-1919
 URL：https://www.takamaru.com/
 代表者：代表取締役 高丸 正

日本は稼働台数では世界2位、生産台数では世界シェアを60%も占める世界一のロボット大国です。しかし、そのほとんどのロボットは自動車産業など大量生産の現場で活用されており、多品種少量生産の比率が高い中小企業ではまだまだ導入が進んでいません。その理由の一つに、「教示（ティーチング）」と言われるロボット動作プログラムを作成する作業が大変難しいことが挙げられます。当社は40年以上の歴史がある老舗のロボットSierで、年間50台以上のロボットシステムを毎回ゼロから設計・製作しています。最近ではユーザーの半数以上が中小企業になりましたが、困難な「教示」を簡素化するための様々な工夫の成果と言えます。今回ご紹介する「鏡板切断ロボット簡易教示システム」も教示の簡素化を達成したことで、「ひょうごNo1ものづくり大賞」や「ひょうご新商品」に認定され多くの中小企業ユーザーでご活用いただいております。

鏡板とはタンクの両端などに用いられる半球形（鏡餅に似た形）の曲板であり、多くの場合、配管を接続するための穴あけ加工が必要です。鏡板の曲面はセンチ単位の精度誤差があり、かつては限られた職人だけが特別な技能を駆使して行う大変難しい作業でした。本システムではその作業にロボットを活用して、簡単かつ正確に、しかも鏡板の大きな精度誤差にも適切に対応する工夫を凝らしたものです。すでに特許も取得し、当社のオリジナル商品として販売しております。

3次元曲面である鏡板に穴を開けるとその切断線は3次元の楕円のような形状になりますが、接続する配管の断面は正確な円形であるため、配管を接続する方向から見れば穴の形状も円形になります。一方ロボットには、中心の位置と半径を指定すると正確な円の軌道を作成する機能や、動作プログラムを補正するタッチセンサという機能があります。この度の特許技術ではこれらの機能を活用し、①配管を接続する方向から見る仮想の平面を設定し②その仮想平面上に円の軌道を作成して③タッチセンサでその軌道を鏡板表面に投影するように補正する、動作プログラムを確立しました。図面に記載される穴の位置や穴径を指定する4つの数値を入力するだけで、ロボットが自動でプログラムを作成し穴開け作業を行うことができます。つまり難しいロボットの教示は必要ありません。また、切断面は円形以外も対応可能となり本システムは進化を続けています。

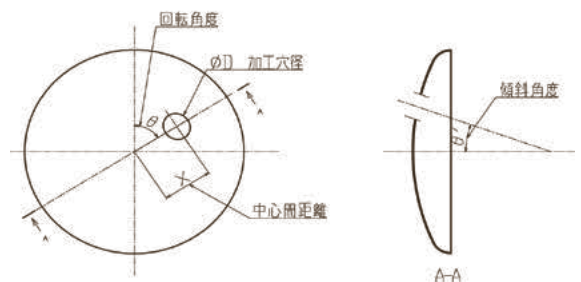
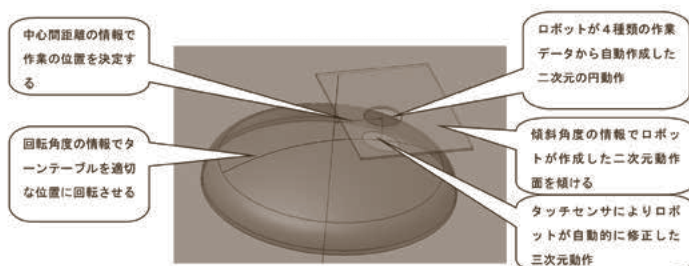
ロボット元年と言われた1980年頃、日本は「ハイテクジャパン」と形容され「世界一のものづくり大国」と言われていました。アメリカの経済学者が「Japan as No.1」という書物を発刊し日本に学べとまで言われていたのです。それから40年経過した現在、日本を取り巻く環境は厳しいものとなっていますが、世界中どこを見渡しても多品種少量生産を行う中小企業におけるロボットの利活用はなかなか進んでいません。当社は中小企業向けロボットシステム導入全国1位の実績に誇りを持ち、中小企業のロボット化に尽力することで「Japan as No.1」復活の一翼を担うべく今後も挑戦を続けます。



高丸工業製ロボットシステム



高丸工業製ロボット教示システム



二次元ロボットプログラムの三次元変換

叙勲・褒章の栄

2022年度秋の叙勲・褒章が発表され、当工業会では次の方がその栄に浴されました。
会員の皆様とともに、心からお祝申し上げます。

旭日重光章	家次 恒 氏	シスメックス株式会社 代表取締役会長兼社長CEO
旭日中綬章	尾山 基 氏	株式会社アシックス 取締役会長

新 会 員 紹 介

株式会社神栄興業

代表者 専務取締役 馬場 耀平
所在地 〒653-0031
神戸市長田区西尻池町2-5-6
TEL 078-631-4754
FAX 078-631-7437
URL <http://www.shinei-kogyo.co.jp/>
資本金 1,000万円
従業員数 11名

■営業品目

非加硫ブチルゴム系材料の製造、販売（建築、土木用途）

■事業内容

当社は「非加硫ブチルゴム」の製造に特化した会社として、原材料の仕入れから配合の検討、練り、押出加工までを一貫して行っております。50年の歴史のなかで培った多くの配合、加工ノウハウを活用し、お客さまのニーズに合致したオーダーメイドの製品を製造できるよう、社員一同日々精進しております。「ブチルゴム」に関する製品のニーズがありました際には、是非お気軽にお声かけ下さい。



株式会社合食

代表者 代表取締役社長 砂川 雄一
所在地 〒652-0844
神戸市兵庫区中之島1-1-1
TEL 078-672-7500
FAX 078-672-9200
URL <https://www.goshoku.co.jp>
資本金 9,020万円
従業員数 362名

■営業品目

冷凍水産物、水産加工全般、乾燥農産物全般、常温加工食品全般

■事業内容

弊社は、水産事業、食品事業、物流事業の3事業を展開し、水産事業は、国内7拠点と海外5拠点のネットワークを通じ、加工用農水産原料の流通、日本食輸出を行い、食品事業は函館、八戸、呉の自営工場において、量販店向けに、お魚惣菜、鮭フレークなどの食品の製造と販売を行い、物流事業は、神戸、函館、船橋の各物流センターで、保管、配送、通関など国際的なサービスを行っています。



日本精機宝石工業株式会社

代表者 代表取締役 仲川 和志
所在地 〒669-6701
美方郡新温泉町芦屋100
TEL 0796-82-3171
FAX 0796-82-4110
URL <http://www.jico.co.jp>
資本金 2,000万円
従業員数 55名

■営業品目

レコード針、ゲージコンタクト、ドレッサー、ダイヤモンドバー、レンズクリーナー等

■事業内容

当社は兵庫県の最北西部の地に明治6年、「縫い針」製造で創業致しました。現在はレコード針をはじめ、工業用ダイヤモンドを「はんだ、接着剤、めっき、ロウ付け」等のメソッドを用い、金属部と一体化させ、お客様のスペックに合わせた少量多品種を一貫生産で作り続けています。領分は掌サイズと規定し、「おもてなしの様なモノづくり」を謳い文句に日本製の誇りを胸に日々精進して参ります。



会 員 動 向

代表登録者変更

企 業 名	新 登 録 者	旧 登 録 者	変 更 月
株式会社トクセンエンジニアリング	代表取締役社長 櫛部 春雄	藤原 新吾	2022年9月
相生商工会議所	会 頭 江見 重人	田口 晴喜	2022年11月
神戸商工会議所	会 頭 川崎 博也	家次 恒	2022年11月

イ ベ ン ト 情 報

月 日	事業名・内容	場 所
12月2日(金)	会員交流懇親会	神戸ポートピアホテル
12月13日(火)	中播磨地域交流会	ホテル日航姫路
12月14日(水)	職域における創意工夫者表彰式	兵庫県公館
12月16日(金)~17日(土)	採用イノベーションスクールinKitaharima (加西)	加西市民会館
2月15日(水)	合同委員会	有馬温泉 元湯 古泉閣
3月23日(木)	第3回理事会	ホテルオークラ神戸

冬期休業の お知らせ

本会では、誠に勝手ながら2022年12月29日(木)~2023年1月3日(火)まで、冬期休業といたします。(2023年1月4日(水)より通常業務) この間、何かとご不便ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人 兵庫工業会

本 部 | 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336
Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL <http://www.hyogo-ia.or.jp>

神戸事務所 | 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336

姫路事務所 | 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231